

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズ2nd		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 11日		～ R6年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R6年 11月 11日		～ R6年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種のスタッフが在籍しているため、多面的にアセスメントを行い、支援に結びつける事ができている	それぞれの専門分野の研修を行うことにより、共通理解とそれを保護者や他機関にも伝える工夫を行っている また常に情報共有に努め支援に繋げている	基礎的な部分は研修で学べるが、応用的な部分や内容が難しくなると、事業所内でも理解の差が生まれているため、研修後の継続した育成に取り組む 今後も話しやすい雰囲気作りを心掛け、コミュニケーションを密に取り、全職員共通のもと支援を行っていく
2	母子通園を活かし、ご家族と密に連携を図りながら、支援を進める事ができる	より日常に沿った支援をという意識を全職員共通でもち支援に取り組んでいる 定期的に家族支援の実施や連絡帳の活用している。また送迎時に直接フィードバックを行っている	日々ご家族との情報共有、評価シートを基に個別支援計画作成に取り組む 支援に保護者に入ってもらい実際に取り組んでいる内容を見てもらいながら家庭への般化へ繋げていけるようにしていく
3	個別メインではあるが選択活動と小集団活動も行っている	長期的な目的、短期的な狙いを年間を通して定め個別支援や小集団活動の立案に努めている 年数回のイベントを通し、環境変化のある中でも支援を行っている	認知発達、特性、日常に合った活動内容の設定を今後も行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだまだ併用先との連携が少なく、横の繋がりの部分で弱さがある	支援をおこなっている時間は見学に来ることが難しいと言われることが多い。利用時間中はお互いに支援や保育中の為、対面での時間確保が難しい	対面に拘らず、電話連絡やオンライン等を積極的に活用し、連携の幅を広げていきたい 協議会等に参加し、参加されている方と積極的にコミュニケーションを取っていきたい
2	少人数での活動になるので、集団活動は大型イベント時等に限られてしまう	個別支援へのニーズが高いため、イベントなどの実施が少ない	集団活動確保のため、年数回大型イベントを開催し、集団の場を設けている。頻度自体は少ないので、今後ももう少し回数を増やせるよう検討していく。定期的に家族参加型のイベントを行っていく
3	送迎を行っていないので、保護者の方に利用日・利用時間はお仕事をお休みしていただき、送迎の協力を頂いている	実際に支援を見て頂いたり、参加して頂くことで、家庭でのかわり方を提案しているため、保護者送迎をお願いしている	今後も保護者送迎を継続し、保護者同伴の意味等を分かりやすく説明を行い、同意を得ながら進めさせて頂く。また、送迎可能な日の振替なども案内もしていく